

Polyend Tracker Mini Essentials

A Collection of Essential References
for The Polyend Tracker Mini



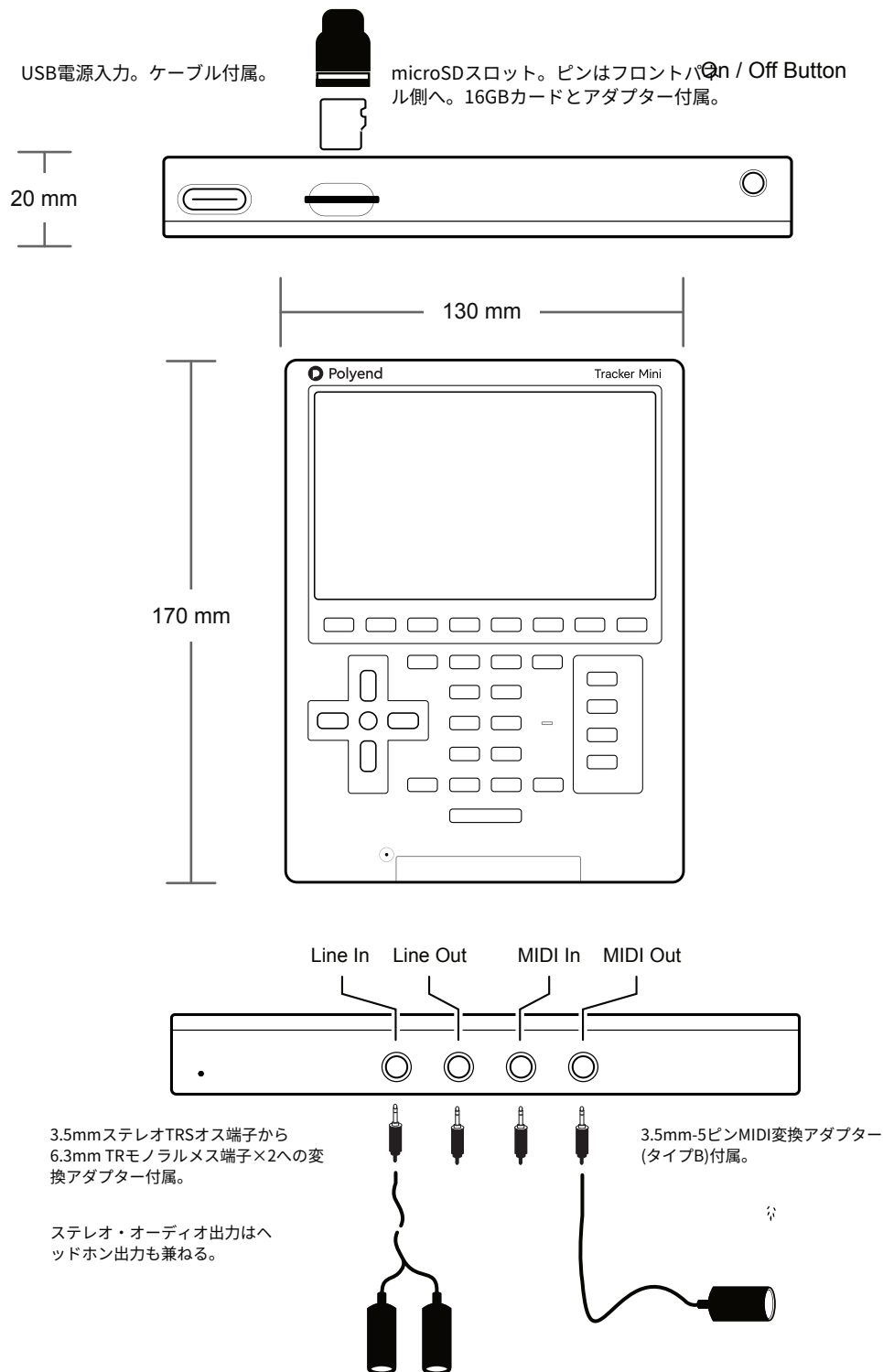
Overview

Polyend Tracker Miniは、デスクトップ版Polyend Trackerのハンドヘルド版です。80年代後半に、主にゲーム機、後にパソコン上での音楽制作ツールとして登場したクラシックなソフトウェア音楽アプリケーションを、現代のハードウェアで実現した製品です。トラッカーとは、通常サンプルとそれに紐づくパラメーターをトリガーする、直線的な音符の連なりを組み立てるツールです。一般的なDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)とは異なり、トラッカーは基本的にトラックを上から下へ再生します。Polyend Trackerは、選択したノート・ステップをループ再生することも可能です。トラッカーは一般にニッチな愛好家コミュニティを持つに留まり、他のDAWほどの人気を得ることはありませんでした。Polyend Tracker Miniは、この関心を再び呼び起こし、トラッカーの作曲機能をポータブルで手軽な形で提示しています。この一風変わったプログラミングスタイルの音楽制作に惑わされないでください。奇妙に見えるかもしれませんが、実はとてもパワフルで創造的な制作アプローチを提供します。

Tracker Miniは、このヴィンテージなアプリケーションを、16のシーケンストラックと多彩なエフェクト、MIDIおよびオーディオ入出力、複数のワークフロー環境を備えた、モダンでスタイリッシュなハンドヘルド筐体で提供します。小型で充電式バッテリーを搭載しており、Tracker Miniはポータブルな『オールインワン』ワークステーションとして理想的です。機能セットは幅広く、興味深く創造的な機能も備えています。Tracker Miniの操作自体は特に難しくありませんが、独特で馴染みの薄い基本コンセプトとワークフローのため、最初は少し戸惑い、習得に時間がかかるかもしれません。これは音楽制作における一風変わった視点かもしれませんが、それこそが楽しさの理由です。本ガイドは、学習の高速化と、本機の性能を最大限に引き出すことを目的としています。いつもの通り、Synthdawgのノートブックスタイルにより、あなた自身のメモを書き加え、このガイドブックを自分だけのものにすることができます。Tracker Miniの旅は一風変わっていますが、楽しく、パワフルな音楽制作機であり、やりがいのある結果をもたらしてくれます。お楽しみください。

Tracker Mini Essentials

Hardware Overview



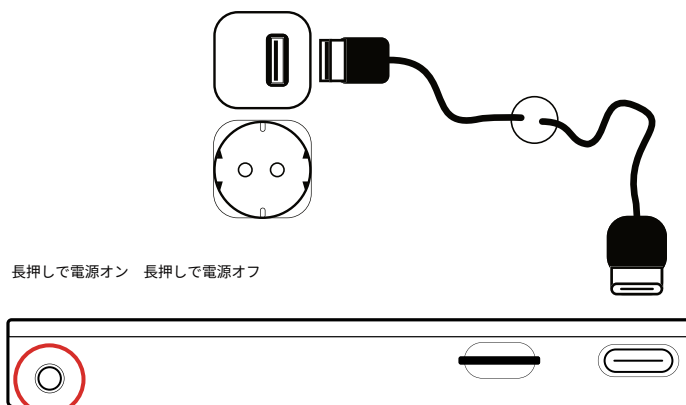
Start Up

Tracker Miniは内蔵充電式バッテリーで駆動し、付属USBケーブルと充電器で充電します。再起動すると直前のプロジェクトが再度開きます。

■ TRACKER MINIの電源オン / オフ

1. Tracker Miniを充電するには、付属のUSB-C電源ケーブルでTracker Miniと付属のUSBプラグを接続します。充電が完了すると、USB電源を接続しなくてもTracker Miniを動作させることができます。
2. Tracker Miniの動作には、microSD取付を確認。ピンはフロントパネル側へ。
3. 電源を入れるには、正面から見て右上にある小さな電源ボタンを1秒間長押しします。起動すると、直前に開いていたプロジェクトが再度開かれます。
4. 電源を切るには、上から見て右上にある小さな電源ボタンを、タイマーバーが終わるまで長押しします。Tracker Miniの電源が切れます。
5. 電源オフ時にバッテリー残量を確認するには、電源ボタンを素早く押します。バッテリーインジケーターが短時間表示され、充電状態を示します。電源オフ中に電源ケーブルを接続した場合も、バッテリー状態が表示されます。

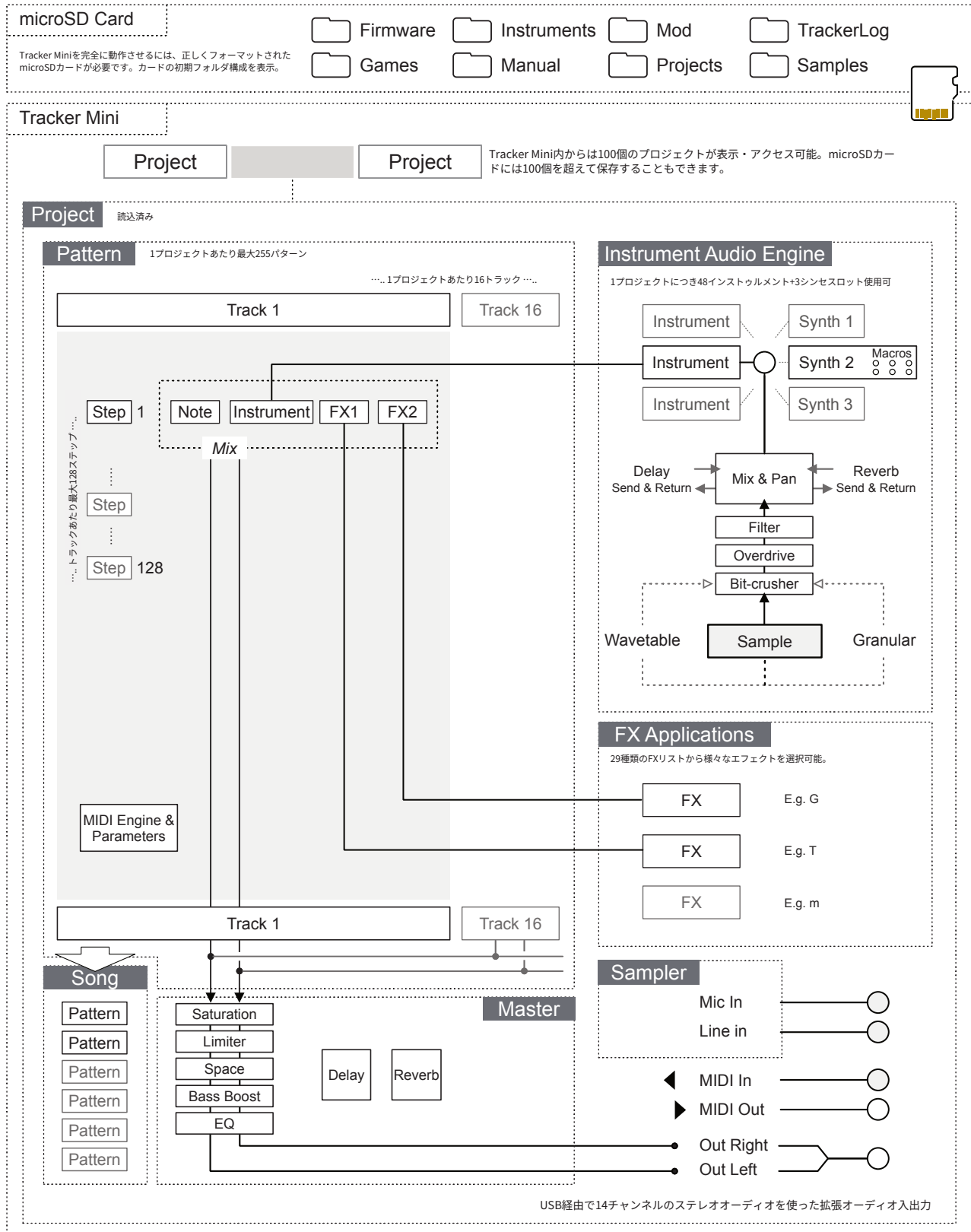
充電電源は付属のACアダプター(USB)から5V, 2A



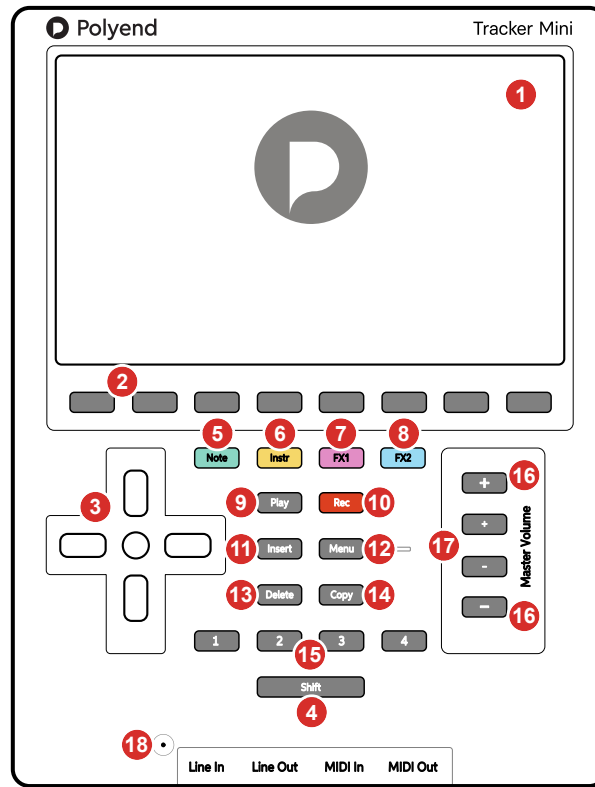
！ 警告: ハブやパソコンからの給電が不足すると、動作不良やmicroSDカードの故障を招く場合があります。Tracker Miniの充電には、付属のケーブルと電源のみを使用することを推奨します。他の機器で充電する場合は、5V, 2Aの定格電力を厳守してください。それ以外の充電器やモバイルバッテリーの使用は、すべて自己責任となります。

Tracker Mini Essentials

Tracker Mini Audio Structure



Tracker Mini Essentials



- 1 LCD Display : 5インチ、800x480
- 2 Screen Buttons : [Screen buttons]は各ボタンの上に表示される機能に応じて変化します。
- 3 D-Pad Navigator Buttons : 4方向ボタン(Up)(Down)(Left)(Right)と(Enter)。グリッドとオプションを操作。
- 4 Shift Button : [Shift] + 他のボタンを押すと、そのボタンの副機能を選択します。
- 5 Dedicated Note Button : [Note]を選択。
- 6 Inst Button : [Instrument]を選択。
- 7 Dedicated FX1 Button : [FX1]選択。
- 8 Dedicated FX2 Button : [FX2]選択。
- 9 Play Button : [Play]でパターンまたはソングを再生。再度押すと停止、もう一度で再開。
- 10 Rec Button : [Rec]で、パターン/パフォーマンス設定編集用の録音モードをオン/オフ。
- 11 Insert / Home Button : [Insert]で挿入。[Shift]+[Insert]でパターン先頭(『ホーム』)へ。
- 12 Menu Button : 長押しでメニューを開く。選択肢をハイライトし、ボタンを離すと選択。
- 13 Delete Button : [Delete]でリセットまたは一つ戻る。[Shift]+[Delete]でバックスペース削除。
- 14 Copy Button : [Copy]で選択中の項目をコピー。[Shift]+[Copy]でペースト。
- 15 Function Buttons : 機能ボタン。デフォルト:1-パターン、2-Inst自動化、3-サンプル再生、4-マスター。
- 16 Master [+]/[-] - Course : マスターボリュームを大きな単位で調整。メニュー値の調整にも使用。
- 17 Master [+]/[-] - Fine : マスターボリュームを細かい単位で調整。メニュー値の調整にも使用。
- 18 内蔵マイク

Tracker Mini Essentials

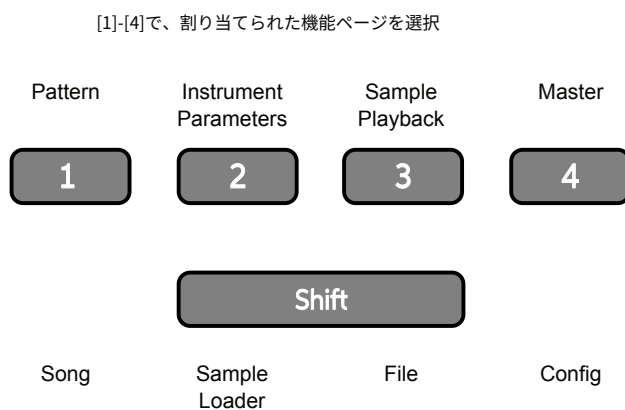
Functions Buttons.

NOTES

8つの定義済みページに素早くアクセスできる、4つの専用機能ボタンがあります。最初の4つの機能には1〜4の番号が割り当てられており、[Shift]を使うことでさらに4つの機能を追加で利用できます。これらの機能ボタンは割り当て変更が可能で、様々なページオプションに再設定できますが、ワークフローを構築する上ではまずデフォルトから始めることをお勧めします。

割り当て可能な機能ボタンの使い方

機能ボタンタップ、または[Shift]+タップで割り当てページへ。デフォルトを下に示す。



[Shift]+[1]-[4]で、割り当てられた機能ページを選択

機能ボタンを押すと、メインページが選択されます。複数のページが存在する場合は、対応する機能ボタンをタップし続けることで、利用可能なページを順に切り替えます。

機能ボタンに割り当てられる機能は12種類あり、各ボタンにつき2つ、合計8つのスロットが利用できます。デフォルトで割り当てられているもの以外にも、『Sample Recorder』、『Sample Editor』、『Perform』、『Games』の各機能をデフォルト設定の代わりに割り当てることができます。ページをボタンに割り当てる手順は、設定セクションで説明します。

本マニュアルの手順は、ここに記載したデフォルトの機能ボタン割り当てを前提とします。[Menu]は特定の機能ページを選ぶ別の方法です。

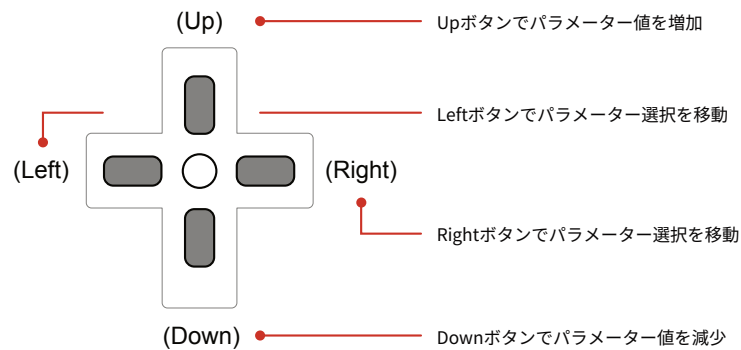
Generic Controls.

ページにはパラメーター/機能があり選択で調整可。メニュー内でも使用。

パラメーターの編集

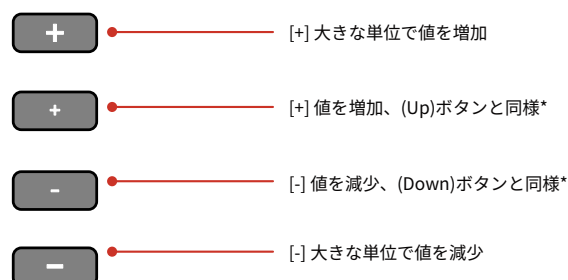
編集したいパラメーターを含むページを選択する必要があります。例えば『Master』ページには一連の調整可能な設定が含まれています。ハイライトされ選択中のパラメーターは、赤色のバウンディングボックスで示されます。D-Padナビゲーターと+/-ボタンで変更されるのは、この選択中のパラメーターです。

D-Pad navigation



○ 中央のナビゲーションボタンは通常『選択』『決定』として機能

Master +/- Buttons



固定されたページメニューのオプションでは、D-Padナビゲーションボタンとマスター+/-ボタンで利用可能なオプションをスクロールします。オプションはハイライトされると自動的に選択されます。ページによっては、対応するScreen Buttonを繰り返し押すことでメニューオプションを切り替えることもできます。

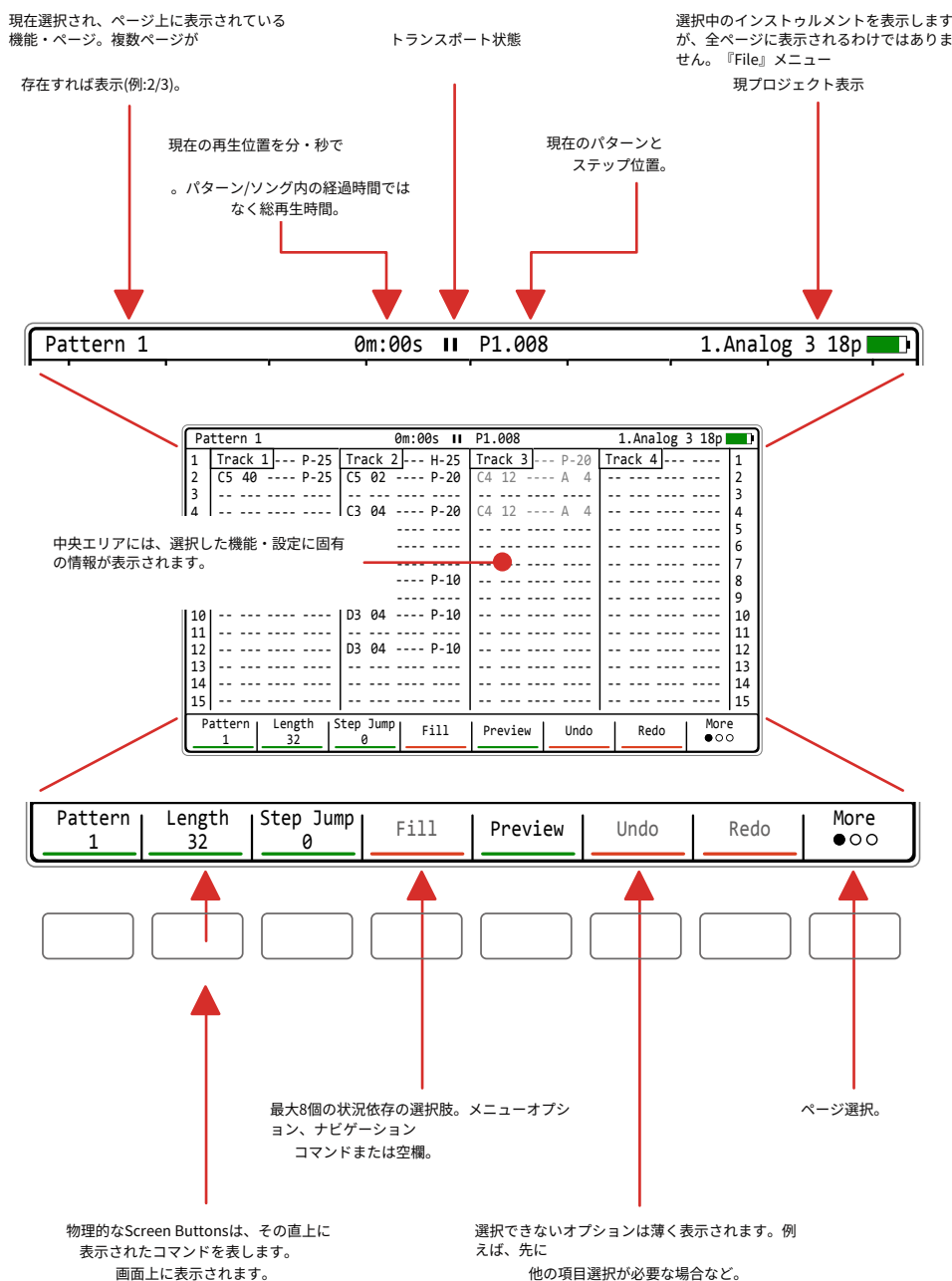
*一部のメニューや値設定オプションでは、内側の+/-とD-PadのUp/Downが同様に機能する場合があります

Tracker Mini Essentials

Page Layout.

NOTES

各ページには、選択した機能に応じた情報とコントロールオプションが表示されます。内容はコンテキストごとに異なりますが、Tracker Miniのほぼ全ての汎用ページに共通する機能とナビゲーションの原則がいくつか存在します。

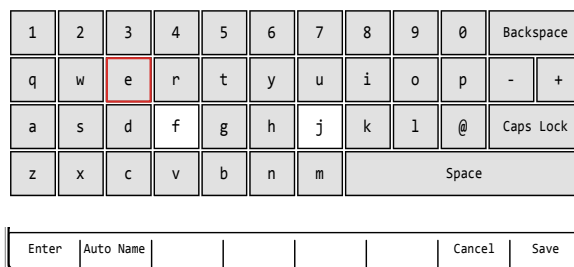


ボタン下部のアンダーラインの色は、コマンドが利用可能なモードを表します。赤色でアンダーラインされたオプションは[Rec]モードでのみ利用可能です。緑色のオプションは通常時に利用可能です。

QWERTY Keyboard.

一部のページでは、トラック名やプロジェクト名などの入力にテキスト編集が必要です。アルファベット・数字のポップアップエディターを使用する場合も同様の機能が適用されます。画面にはQWERTYキーと編集対象のテキストが表示されます。Screen Buttonsは確定・キャンセル・保存に使用し、D-Padナビゲーターボタンで編集操作を行います。自動命名も選択できます。

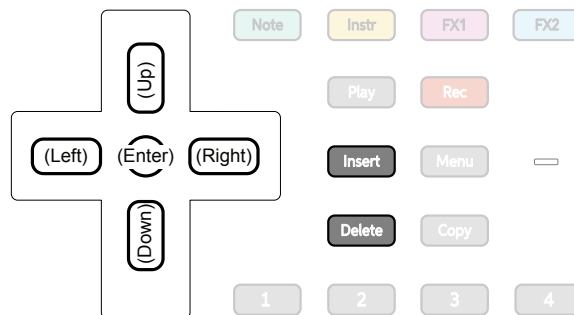
画面には、QWERTY配列のキーが表示されます



文字とタイトルは、(Up)、(Down)、(Left)、(Right)で移動して選択し、中央のD-Padナビゲーターボタンを押すか、[Insert]または[Enter] Screen Buttonを押すことで、選択した文字を確定・追加できます。

[Cancel] Screen Buttonでキャンセルすることも可能です。

入力が完了したら、[Save] Screen Buttonで名前を保存します。



命名エディター画面が表示されている間、以下のTracker Miniボタンが機能します:-

- D-Pad(Up)、(Down)、(Left)、(Right)でキーボード上の選択位置を移動します。名前がハイライトされている場合は、名前のテキスト内を左右に移動します。
- D-Padナビゲーター(中央)ボタンまたは[Insert]で、現在ハイライトされている文字をカーソル位置の名前に挿入します。Screen Buttonからも操作できます。
- [Delete]で文字を削除、[Shift]と併用でテキストカーソル位置からバックスペース削除します。

Tracker Mini Essentials

Summary of Configuration Options

『Config』メニューでは多数のオプションを設定できます。デフォルトでも使い始めるには十分ですが、状況に応じて変更するとより適した動作になります。詳細は該当セクションで解説し、ここでは概要のみ示します。

Config Options

Menu	Option	Description
Project Settings	Performance Presets	パフォーマンスプリセットをグローバル/プロジェクト単位で保存可。
Project Settings	Pattern Divider	選択中ステップのハイライトレベルを設定し見やすくします。
Project Settings	Anti-aliasing	アンチエイリアシングOnでクリアな音、Offでローファイな感触に。
Project Settings	Limiter Mode	リミッターのアタック/リリース特性を控えめ〜極端の間に設定。
Project Settings	Sends Mode	センドをプリフェーダー(音量非依存)/ポストフェーダーに設定。
Project Settings	Extra Headroom	出力に余分なヘッドルームを追加しクリッピングを回避。
Project Settings	Snap to Zero	ゼロクロス点にスナップし、クリックノイズを回避。
General	Display Brightness	7インチディスプレイの明るさをHigh/Medium/Lowの3段階で調整。
General	Display Theme	画面のカラースキームです。Originalは背景が暗く、Monochromeは明るい配色です。10th Anniversaryテーマも利用可能です。
General	Display Font	テキストフォント。Originalはクラシック風、Newはより標準的。
General	Recording Options	記録内容(ノート、クオンタイズ、マイクロタイミング等)を設定します。
General	Numbering Mode	数値を10進数(0/1開始)/16進数形式に設定。クラシックな見た目に。
General	Pattern Arrangement	パターン表示を、従来の縦型表示、または横型表示に設定します。
General	Pattern Top Info	パターン画面上部を、トラック名のみ/追加情報/オフに設定できます。
General	Line In Channel	ライン入力を、ステレオ/モノラル(左)/モノラル(右)から選択します。

Tracker Mini Essentials

Menu	Option	Description
MIDI	Clock In	マスタークロックを内部(デフォルト)または外部(USB/MIDI In)に設定します。
MIDI	Clock Out	クロック出力をOff/USB/MIDI Out/USB+MIDI Outから設定。
MIDI	Transport In	トランスポートコマンドを内部(デフォルト)/外部(USB/MIDI In)に設定。
MIDI	Transport Out	トランスポートコマンド出力をOff/USB/MIDI Out/USB+MIDIから設定。
MIDI	Notes In	外部ノート入力のルーティングをOff/USB/MIDI In/USB+MIDIから設定します。
MIDI	Notes Input Channel	外部機器からのノートのMIDIチャンネルを、全chまたはCh 1-16に設定。
MIDI	MIDI Out	MIDI出力のルーティングをOff/USB/MIDI Out/USB+MIDIから設定します。
MIDI	CC In	CC入力のルーティングをOff/USB/MIDI In/USB+MIDI Inに設定します。
MIDI	CC In channel	CC受信メッセージのMIDIチャンネルを、全chまたはCh 1-16から設定。
MIDI	Middle C	ミドルCをC-3〜C-6に設定。外部機器との音域を合わせます。
MIDI	Clock Sync Correction	受信同期のレイテンシー補正。
USB	Storage	USB接続したPC / Macからは、Tracker MiniのmicroSDが外部ストレージとして認識されます。このモードでmicroSDとファイルを直接転送できます。
USB	Audio	USBオーディオの入力/出力/両方を有効化、またはOffで無効化できます。
Metronome	State	ライブ録音時のメトロノームのオン/オフを切り替えます。
Metronome	Pre Roll	録音開始前に4拍のカウントインを行います。
Metronome	Time signature num	拍子記号の分子(上段)

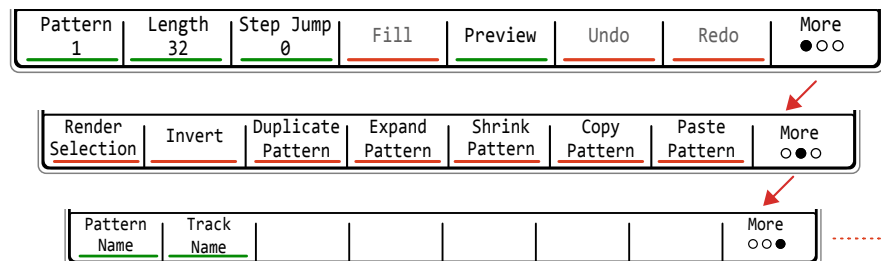
Tracker Mini Essentials

Menu	Option	Description
Metronome	Time signature denum	拍子記号の分母(下段)。
Metronome	Volume	メトロノームの音量レベル。
Firmware	Firmware Update	SDカード内『firmware』フォルダのOSに基づきアップデートを実行。
Firmware	Current version	インストール済みOSの現在のバージョンを表示(表示専用)。
Firmware	Build	ファームウェアのビルドバージョン。
Firmware	Reset config	この設定メニューを初期設定にリセットします。
Fn buttons binding	Fn1	機能ボタン[1]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn2	機能ボタン[2]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn3	機能ボタン[3]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn4	機能ボタン[4]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn1+Shift	機能ボタンの組み合わせ[Shift] + [1]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn2+Shift	機能ボタンの組み合わせ[Shift] + [2]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn3+Shift	機能ボタンの組み合わせ[Shift] + [3]に割り当てるページを設定します。
Fn buttons binding	Fn4+Shift	機能ボタンの組み合わせ[Shift] + [4]に割り当てるページを設定します。
Info	--	その他の情報。

Configuring a Pattern.

パターンおよびステップの編集は『Pattern』モードで行います。まず、後からステップを追加してメロディやビートを作るように、パターン自体を作成する必要があります。パターンに関するコマンドは、ページ下部のダイナミックスクリーンボタンから利用できます。これらはモードや選択内容によって変化します。

ページ下部に表示されるダイナミックスクリーンボタンで、パターン作成に関するオプションを操作します。
アンダーラインの色はモードを表します。例:赤色は[Rec]モードでのみ操作可能であることを示します。



Menu Option	Function	Description
Pattern	Pattern Selection	編集するパターンを選択します。プロジェクト内のパターン番号1～255から選択します。
Length	Pattern Length	パターン内のステップ行数を調整します。デフォルトは32ですが、1パターンにつき最大128行まで設定可能です。
Step Jump	Programming Aid	パッドでのステップ入力を補助します。定義したステップ数だけ選択カーソルを自動でジャンプさせます。
Fill	Programming Aid	ステップのプログラミングを補助します。定義した選択条件に基づき、ステップを自動的に埋めます。
Preview	Instrument Preview	そのステップに割り当てられたインストゥルメントを再生し、試聴可。
Undo	Undo Last Command	可能な場合、直前の操作前の状態に戻します。実質的に、直前(最大20回)のコマンドを取り消します。
Redo	Redo Last Command	可能な場合、直前の操作後の状態を復元します。実質的に、直前(最大20回)のコマンドをやり直します。
Render Selection	Bounce Audio	選択範囲を新しいオーディオサンプルとしてレンダリングします。他の場所での再利用やトラック消費量の削減に便利です。
Invert	Invert Steps	選択範囲内の全ステップを縦方向に反転します。
Duplicate Pattern	Extends Pattern	パターン全体とそれに紐づくステップを拡張し、パターンの長さを2倍にします。
Expand Pattern	Extends Pattern	既存のステップの間に空白ステップを追加してパターンを拡張し、パターンの長さを2倍にします。
Shrink Pattern	Contracts Pattern	2ステップごとに削除してパターンの長さを短縮し、パターンを半分の長さにします。
Copy Pattern	Copy	パターン全体を仮想クリップボードにコピーします。
Paste Pattern	Paste	仮想クリップボードにコピーしたパターンを、現在位置から開始する形で貼り付けます。
Pattern Name	Name the Pattern	英数字キーボードを開き、現在のパターン名を変更します。
Track Name	Name the Track	英数字キーボードを開き、現在のトラック名を変更します。
More	Change Page	次のコマンドページを選択します。

Tracker Mini Essentials

Pattern Mode Page Layout Options.

パターン/ステップ編集は『Pattern』モードで行います。ボタン[1]か[Menu]で選択。ステップ編集には[Rec]。表示はConfigで変更可。

NOTES

[Shift] + [Insert]を押すと、カーソル位置が先頭(ステップ1)にリセットされます。

上部バーのパターン情報は、Config設定の General > Pattern top info で変更できます。上部バー:オフ、トラックのみ、または追加情報の表示から選択できます。

ステップ行。

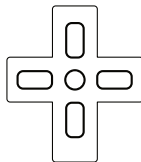
『上から下』表示は、
Config設定で『左から右』に変更できます:
General > Pattern Arrangement

緑色は再生中、赤色は録音モード。

音符入力モード。[Shift] + [Note]を押します。スクリーンキーで音を鳴らします。

ステップの選択:

(上)または(下)を押すと、Tracker Miniのグリッド内を縦方向に移動できます。カーソルは末尾から先頭へ、矢印キー使用時にラップします。



(左)または(右)を押すと、Tracker Miniのグリッド内を横方向に移動できます。

8トラック表示に切り替えます。全8トラックにわたって単一の要素を表示します。

Track 1	Track 2	Track 3	Track 4	Track 5	Track 6	Track 7	Track 8
---	C5	---	---	---	---	---	---
---	C5	C4	D2	---	---	---	---
---	---	C4	---	---	---	---	---

[1] + [Note] - 全8トラックを、ノートパラメーターのみで表示します。

[1] + [Instrument] - 全8トラックを、インストゥルメントパラメーターのみで表示します。

[1] + [FX1] - 全8トラックを、FX1パラメーターのみで表示します。

[1] + [FX2] - 全8トラックを、FX2パラメーターのみで表示します。

[1] + 最大2つのパラメーターボタン(Note/Instrument/FX1/FX2)を長押しすると、8トラック全てで、トラックごとに2パラメーターを表示。

[1]を押すと4トラック全パラメーター表示に戻ります。

音符入力モード。スクリーンキーに割り当てられた8音のセットを変更するには、[Note] + D-Padを長押しします。

Dedicated Step Parameter Buttons.

ステップとは、ノートやビートの再生、MIDIアクションの起動などのイベントをトリガーする最小単位であり、パターン作成の基本要素です。ステップはパターンの行に沿ってプログラムされ、パターンシーケンス内で利用可能な8トラックそれぞれを表します。

ステップは4つの要素で構成され、それぞれに専用の選択ボタンがあります:-

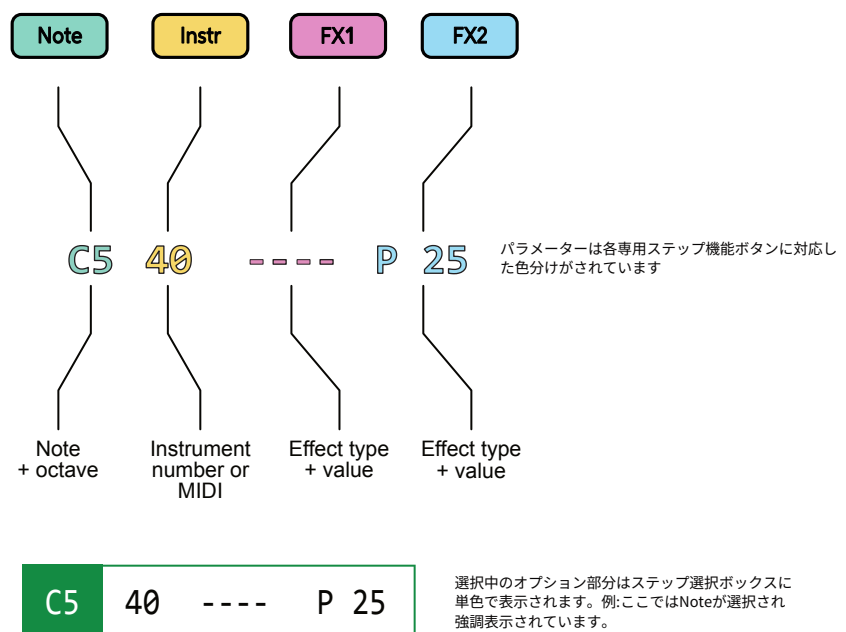
Note. ピッチを設定。メロディやドラムヒットのビート作成に重要です。

Instrument. サンプルとパラメーターの組み合わせ。MIDIチャンネルにも使用。

FX1. ステップに適用するモジュレーション/オーディオエフェクトの第1スロット。

FX2. ステップに適用するモジュレーション/オーディオエフェクトの第2スロット。

ステップ専用パラメーターボタン。[1]を押すか[Menu]からPatternページを選択すると、Note・Instrument・FX1・FX2それぞれに、選択したステップを編集する専用ボタンが割り当てられます。

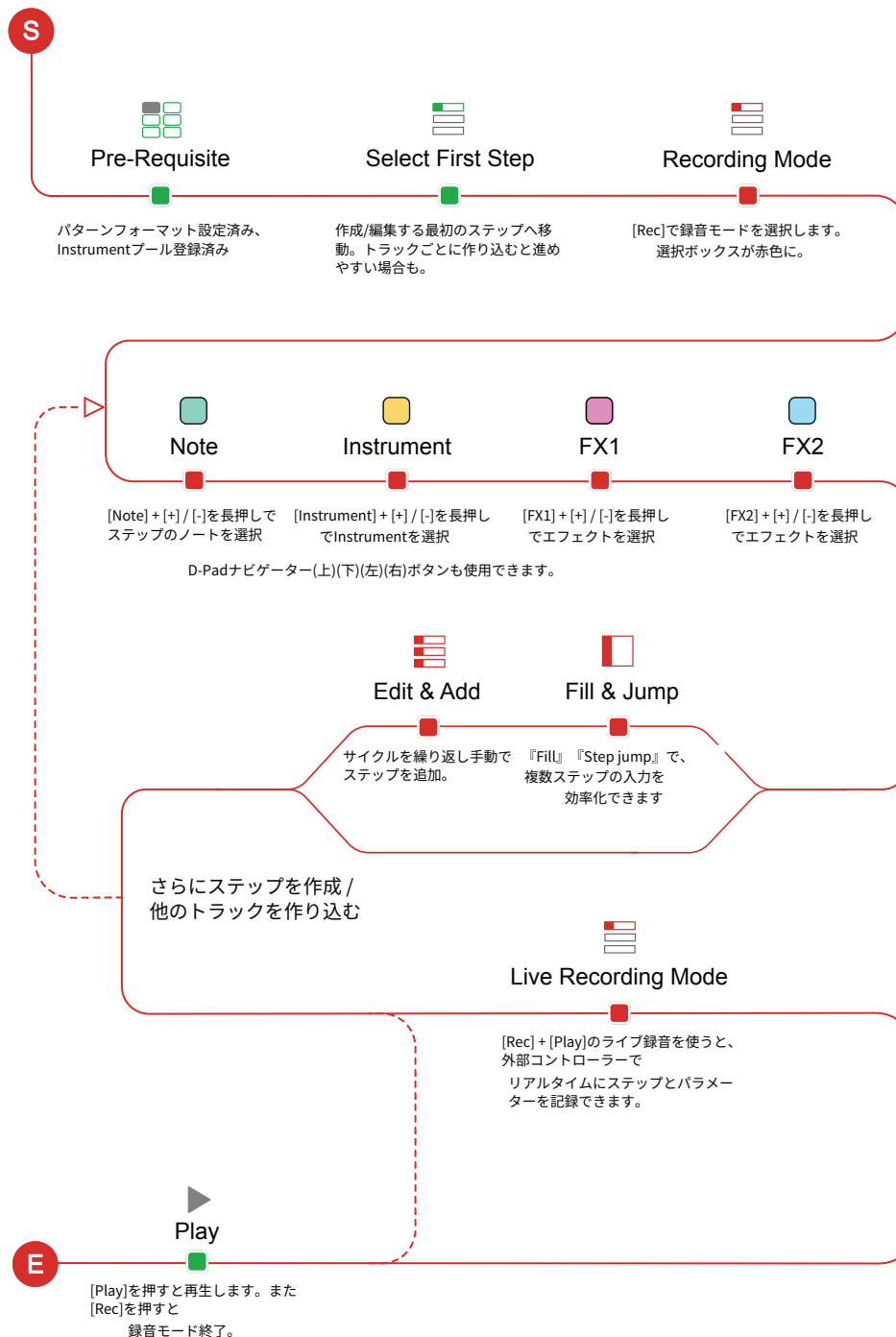


Tracker Mini Essentials

Process of Creating a Step

NOTES

Tracker Miniでは、ステップがシーケンスされ、それぞれNote・Instrument・2つのFXスロットのオプションを含みます。関連する内容ごとにトラックを構成しておくのがおすすめです。例えばトラック1にキックドラムを配置するなど、特に開始時点でそうしておくとい良いでしょう。



手動ステップ入力

Rec
録音モードをオンにし、パターン内のステップを編集

	Track 1	Track 2	Track 3	Track 4
Step jump 1	C5 40 ---- P 25		D6 03 ---- V 10	D6 03 ---- V 10
Step jump は(Enter)使用時のみ有効			D6 03 ---- V 30	
Step jump 2			D6 03 ---- V 50	

ステップは個別に追加できます。例:[Note]を長押しし、(上)(下)(左)(右)でナビゲートしてノートグリッドからノートを選択します。

[Shift] + (上)または(下)で複数のステップ行を選択します。[Shift] + (左) + (右)で複数トラックにまたがる選択も可能です。

D-Padナビゲーター(Enter)ボタンを押すことで、以降のステップが記録されます。これにより、選択中のノートパラメーターが『Step jump』の間隔で定義された行へ繰り返し記録されます。

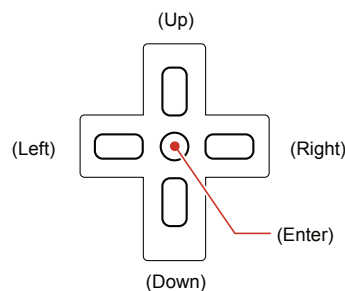
先頭行で[Shift] + (上)を押すとトラック内の全ステップを選択します。[Shift] + (上) + (上)を押すと全ステップを選択します。

既存のパラメーターがすでに設定されている場合に限り、それらへの編集を同時に行えます。この変更は元の値からの相対的な変化として適用されます。未設定のステップ要素は空のままです。

録音モードで(Enter)ボタンを押すと、ノートとインストゥルメントが以降のステップに記録されます。これは選択中のノートまたはインストゥルメントに適用され、FXパラメーターには適用されません。

D-Padナビゲーターでパターン内を移動。

Master [+]/[-]でステップパラメーター値を編集。



- [+] + 空のステップ: 『C5』 ノートを配置。既存のノート:オクターブを上げる。
- [+] + 空のステップ: 『C5』 ノートを配置。既存のノート:半音上げる。
- [-] - 空のステップ: 『FAD』 コマンドを配置。既存のノート:半音下げる。
- [-] - 空のステップ: 『OFF』 コマンドを配置。既存のノート:オクターブを下げる。

- C5 03 ---- V 50 ノートを選択、C5。
- C5 03 ---- V 50 インストゥルメントを選択、Instrument #3。
- C5 03 ---- V 50 FX1を選択、エフェクト未適用。
- C5 03 ---- V 50 FX2を選択、Volume = 50。

専用パラメーターボタンを軽くタップすると、選択を固定できます。例:[Instrument]を編集用にロック。

Tracker Mini Essentials

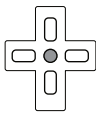
NOTES

D-Padの(Enter)ボタンでステップを追加すると、完了時に自動的にアクティブステップが次のステップへ進みます。この間隔は『Step Jump』機能に基づきます。定義した間隔でパターンを作成する際に便利で、ワークフローを効率化します。Step jumpは[+] / [-]によるステップ入力方式を使用している場合は動作しません。

Step jumpの例

Rec

録音モードをオンにし、パターン内のステップを編集

		Track 1	Track 2	
	Step jump 0	1 = ▶ C5 40 ---- P 25	D5 40 ---- P 25	選択中のステップは先へ進まず、同じステップ位置にとどまります。
	[Enter]	2	D5 40 ---- P 45	
	Step jump 1	1 C5 40 ---- P 25	D5 40 ---- P 25	選択中のステップが自動的に進み、次のステップ位置が選択されます。
	[Enter]	2 C5 40 ---- P 25	D5 40 ---- P 45	
	Step jump 4	1 C5 40 ---- P 25	D5 40 ---- P 25	選択中のステップが4ステップ先へ進みます。この例では次の『オンビート』位置が選択されます。
		2	D5 40 ---- P 45	
		3		
		4		
	[Enter]	5 C5 40 ---- P 25		
		6		

『Step Jump』設定は、特定の間隔でステップを埋めたい場合に便利です。例えば各オンビートステップ、各オフビートステップ、またはパーカッションの交互ステップなどです。これによりワークフローが効率化され、面白いシーケンスの作成に役立ちます。

FX Steps.

2つのFXスロットは、FXライブラリから選び割り当てます。タイプと値があります。

FX Type	Description
	- なし。FX1またはFX2エフェクトが空の状態。エフェクト未適用。
!	オフ。直前のエフェクトステップで使用中のエフェクトをオフに切り替えます。
V	MIDIの場合のボリュームまたはベロシティ(NOTE OFF)。
P	P ステップの音をステレオ空間内で左右に定位させます。
M	M マイクロチューン。ノートおよびMIDI出力の微細なピッチ調整。
G	G 直前のノートから現在のノートへのグライドタイム(ノートピッチに基づく)。
T	T テンポ変更。パターンのテンポを変更します。
I	I スイング。パターン全体に対し、任意のステップトラックからスイングを適用します。
m	m マイクロムーブ。ステップ位置をわずかに前方へずらします。
q	q ゲートレングス。ステップノートのゲート長を調整します。
C	C チャンス。ノートが再生される確率です。
R	R ロール。ノートをビートリビートし、ボリュームまたはピッチの増減オプションも使用できます。
A	A アルペジエーター。ピッチベースのメロディを作成します(MIDIコードも必要)。
n	n ランダムノート。ランダム再生用のノート範囲を設定します。
i	i ランダムインストゥルメント。ランダム再生用のインストゥルメント範囲を設定します。
f	f ランダムFX。選択した範囲からランダムなFXをステップに設定します。
v	v ランダムボリューム。サイクルごとにベロシティをランダムに変化。
r	r サンプル再生を逆再生します。終わりから始まりへ再生されます。
p	p サンプルの開始位置、ウェーブテーブルまたはグラニューラーの再生位置を設定します。
S	S ステップに割り当てた選択スライスを再生します - スライスされたサンプル用。
g	g ボリュームLFOレート。
h	h パンニングLFOレート。
j	j フィルターLFOレート。
k	k ポジションLFOレート。
l	l ファインチューンLFO速度。

Tracker Mini Essentials

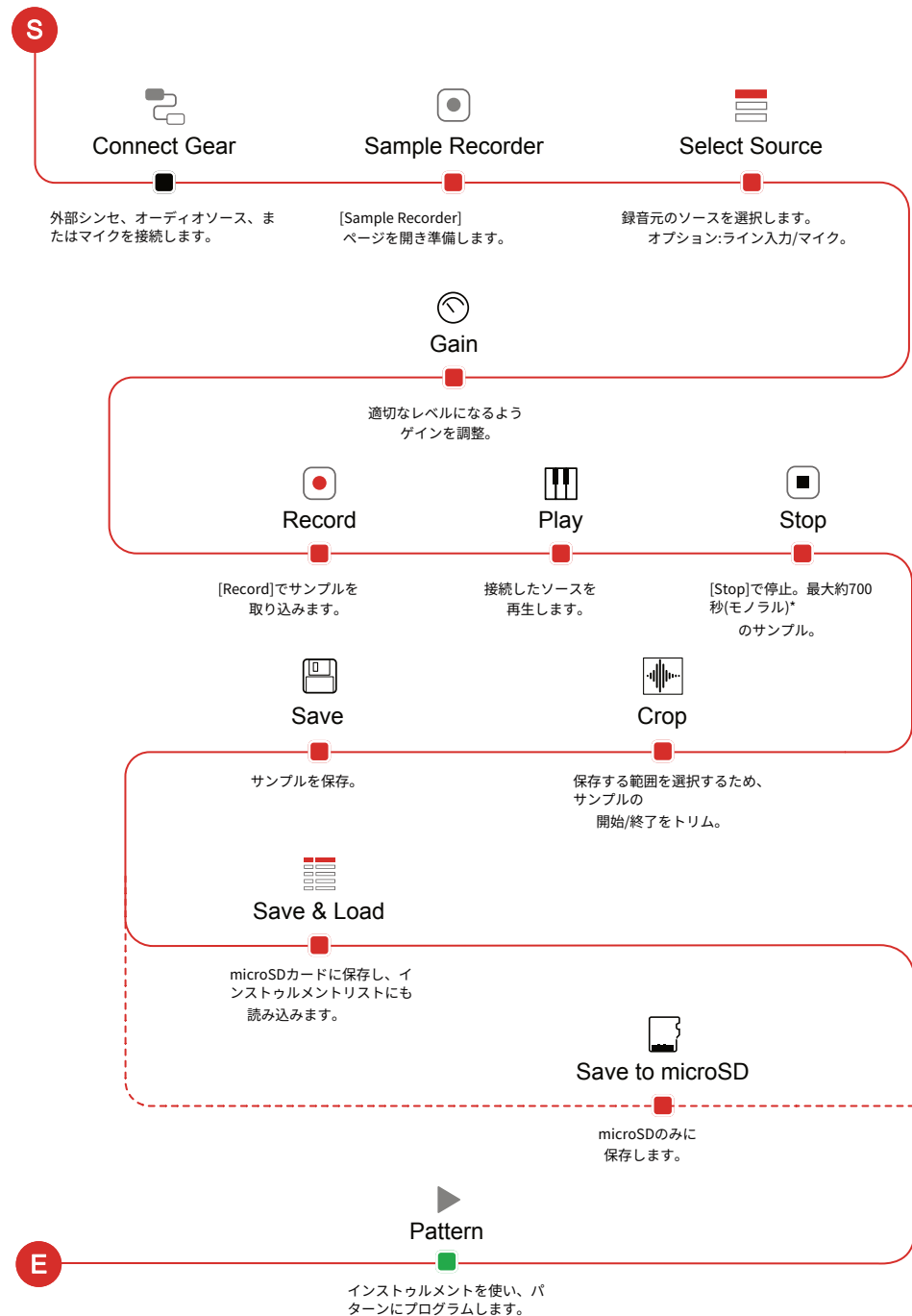
NOTES

FX Type	Description
D	ステップのオーバードライブ量。
L	ローパスフィルターカットオフ。0～100%で表される周波数。
B	バンドパスフィルターカットオフ。0～100%で表される周波数。
H	ハイパスフィルターカットオフ。0～100%で表される周波数。
s	ディレイ。センドエフェクトの量0～100%。
t	リバーブ。センドエフェクトの量0～100%。
E	ビットデプス。4ビットから16ビット。
U	チューニング。-24セミトーンから+24セミトーン。4オクターブの範囲。
F	スライドアップ量。範囲は0～255、1/16セミトーン刻み。
J	スライドダウン量。範囲は0～255、1/16セミトーン刻み。
a	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 1にも使用。
b	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 2にも使用。
c	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 3にも使用。
d	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 4にも使用。
e	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 5にも使用。
f	MIDI出力(CC、PC、Chan & Poly Aftertouch)*。Synth Macro 6にも使用。
0	MIDIコード、ノート出力。(Arpとの併用にも使用)。

* ch・インストゥルメント必須

Recording Audio Workflow

Tracker Miniでのサンプリングは『Sample Recorder』ページで行います。最初のステップで、その後オーディオ編集が続きます。ライン入力またはマイクから取り込みます。



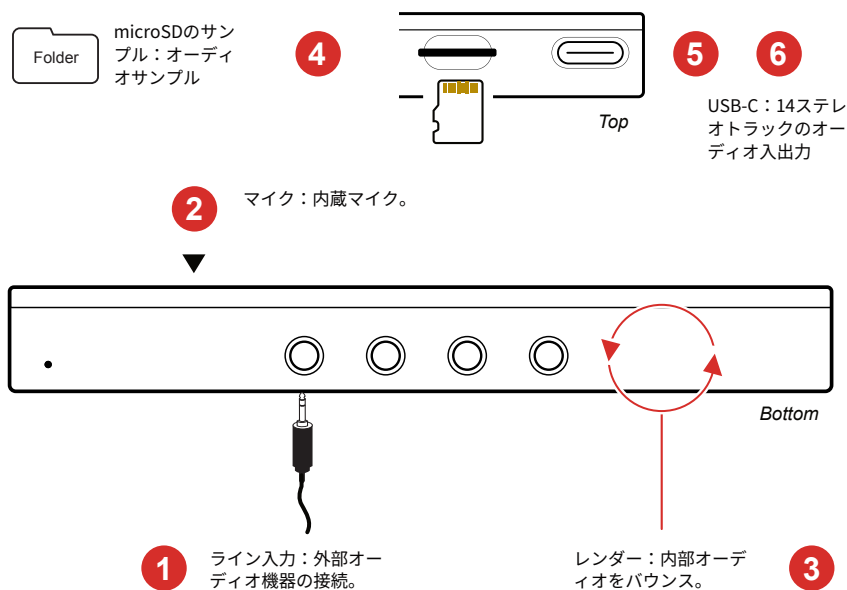
* サンプル時間、最大約700秒(モノラル)または約350秒(ステレオ)

Tracker Mini Essentials

Audio Sources

NOTES

Tracker Miniのオーディオソースは複数あります。簡単にサンプリングできる『ライブ』ソースも、手動管理や内部レンダリングのものもあります。



- 1** Line Input : ステレオ(TRS)およびモノラル(TS)オーディオ入力に対応した3.5mm入力ジャック。ステレオ信号は録音時にモノラルへ変換され、LチャンネルとRチャンネルを個別に選択することもできます。
- 2** Microphone : Tracker Miniはフロントパネルに内蔵マイクを搭載しています。これにより、ボーカル、環境音、一般的なオーディオを直接録音できます。
- 3** Render : 内部機能で利用できる機能の1つがレンダーです。選択したパターン / トラックに基づいてオーディオファイルをバウンス(書き出し)し、サンプルまたはインストールメントリストから即座に利用できるようにします。
- 4** microSD Card : オーディオサンプルはmicroSDカードに保存されます。Tracker Mini内でサンプリングして保存することもできますが、PCやMacを使って外部ソースから手動でmicroSDカードへ転送することもできます。
- 5** USB Audio : USBオーディオインターフェースは、マスターステレオトラック1系統、サンプルベースのステレオトラック8系統、シンセインストールメントトラック3系統、リバーブおよびディレイセンドを含む、合計14ステレオトラックを接続DAWまたは対応オーディオ機器へ送信できます。USB Audioは完成した楽曲の録音を想定した設計です。USB経由での作曲やサウンドデザインは、オーディオ再生に不具合を起こす場合があります。オーディオ再生中にUSB経由でシンセパッチをスクロールすることは推奨されません。USBオーディオ使用中にプロジェクトを読み込むと、接続に問題が生じる場合もあります。Tracker MiniはUSBオーディオの受信も可能です。
- 6** USB Storage Device : オーディオファイルは、PCまたはMacとの間でTracker Miniへ転送・転送元に行えます。接続時、Tracker MiniおよびmicroSDはリモートハードドライブのように認識されます。

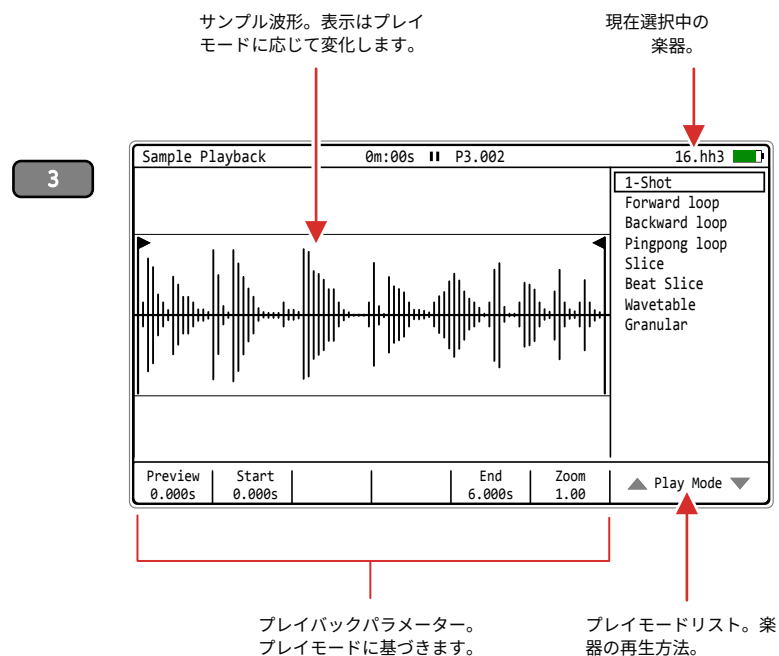
Tracker Miniには、外部機器との接続や、より一般的な6.3mmモノラルケーブルの使用を可能にする、3.5mmステレオオス端子から6.3mmモノラルメス端子×2への変換アダプターが付属します。

Sample Playback Overview

インストゥルメントは、サンプル、編集済み、または未加工のいずれかです。未加工の『.wav』サンプルは、インストゥルメントリストに追加できます。サンプルを編集し、インストゥルメントとしてさらに作り込むと、『.pti』インストゥルメントとして保存できます。例: 『drumkit1.pti』。これは全てのプロジェクトで使用したり、他のTrackerユーザーに配布したりできます。

.ptiインストゥルメントの基本を扱います。サンプリングは別項目。

サンプル適用は『Sample Playback』で設定。[3]か[Menu]でアクセス可。



注:再生中、波形表示にプレイバックのアニメーションは表示されませんが、プレビュー時には再生ヘッドが表示されます。

Type	Play Mode	Description
Play	1-Shot	基本的なサンプル再生。開始から終了まで1回再生します。
Loop	Forward Loop	サンプル再生。開始から終了まで再生し、ループを繰り返します。
Loop	Backward Loop	サンプル再生。終了から開始まで再生し、ループを繰り返します。
Loop	Pingpong Loop	サンプル再生。開始から終了、終了から開始へと往復再生します。
Slice	Slice	サンプルをスライス。ピッチベースのメロディに使用。
Slice	Beat Slice	スライスされ、ビートベースのインストゥルメントに使用。
Synthesizer	Wavetable	サンプルをシンセのようにウェーブテーブルとして使用。
Synthesizer	Granular	サンプルグレインをグラニューラシンセのように使用・再生。

Tracker Mini Essentials

Synthesizers.

NOTES

Tracker Miniには3つのシンセサイザー・スロットがあり、それぞれに5種類のシンセサイザー・モデルのうち1つを割り当てられます。各シンセサイザーには、ノブ・セクションから直接操作できる、モデルに応じた6つの編集可能なマクロがあり、シンセパッチ全体に反映されます。

ACD



ACDは、電子音楽の黄金時代へとあなたを連れ戻す

シンセです。象徴的なシングルオシレーター・モノフォニック・アナログシンセを再現しています。日本の名機へのオマージュとして、ACDはこれらのクラシックの本質を捉えるだけでなく、超高速なシンセ・システムによってあなたを未来へと導きます。忠実なモノフォニック・アナログ再現から、全く新しく独創的なサウンドスケープまで、豊かな選択肢を提供します。

FAT



FATは、クラシックなアナログシンセの

リッチでヴィンテージな温かみを体現する、パワフルなシンセエンジンです。中核には3基のバーチャルアナログオシレーターを搭載し、直感的なドリフト・デチューンコントロールにより、象徴的で分厚いサウンドを難なく作り込めます。プリセットには、2つのユニークなアナログクラシックにインスパイアされた2種類のラダーフィルターが収録されています。深みのあるリースペースから、幻想的なパッド、表現力豊かなリード、クラシックなキーボードまで、多彩なサウンドを提供します。

VAP



VAPは、デュアルオシレーター構成と多彩なモジュレーション

マトリクスを備えたバーチャルアナログ・ポリシンセです。複数のフィルタータイプとパルス幅変調を搭載し、精緻なパターンを作り込めます。このエンジンは、魅惑的で変化し続けるテクスチャーの作成、リッチなパッドの作り込み、唯一無二のサウンドエフェクトの創出において真価を発揮します。

WTFM



WTFMは、3倍フィードバックシステムで駆動する

ウェーブテーブルベースのオシレーターを採用した、ユニークな2オペレーターFMシンセエンジンです。オペレーターは、基本的なサイン波から倍音豊かな音色まで幅広く対応するスイープ式ウェーブテーブルをベースにしており、多彩な音色を実現します。滑らかで包み込むようなパッドの作り込みから、先鋭的なメタリックトーンの作成まで、WTFMは精密かつ本格的なユニークなテクスチャーの実現を可能にします。

PERC



PERCは、1つのシンセエンジン・インストゥルメントに読み込まれる

ユニークなドラムマシンです。1ボイスを使用しますが、最大5種類のユニークなドラムサウンドを同時に再生できます。ドラムには、キック、タム、スネア、オープン/クローズドハイハット、シンバル、Percが含まれます。Percドラムには、スネア、クラブ、カウベルなど複数のオプションがあります。各ドラムは複数のパラメーターで個別に調整可能で、多彩なドラム・トーンを実現します。

[Instrument]を長押しすると、ステップ用のシンセを選択できます。シンセステップでモデルを割り当てるシンセを選択するには[Instrument Parameters]を押します。各スロットに割り当てる、利用可能な5種類のシンセモデルから選択するか、シンセパッチを読み込みます。

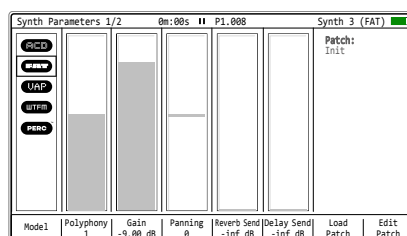
今後のOSアップデートで新しいシンセモデルが追加される場合があります。

■ シンセの選択

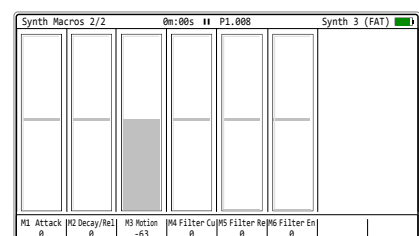
1. 作業対象のプロジェクトがアクティブなパターンで開いていることを確認。
2. [Rec]で編集モードを選択。
3. ステップインストゥルメント用のシンセを選択します。目的のステップで[Instrument]を長押ししながら(上)(下)を押し、Synth 1~3のスロットを選択します。
4. ボタンを離すと、選択したシンセと現在割り当てられているモデルがそのステップに適用されます。シンセは16トラックのいずれのステップにも適用できます。
5. シンセ編集・モデル変更は[2]でSynth Parametersを開く。1/2ページを確認。
6. [Model]スクリーンボタンで、選択中スロットのシンセモデルを順に切り替えます。
7. 必要に応じ[Load Patch]でパッチリストから選んで読み込むこともできます。
8. その他のパラメーターはインストゥルメントパラメーターページで利用可能。パッチの設定・デザインには[Edit Patch]でエディターを開き作成・保存します。
9. シンセマクロで、個別に割り当てたパラメーターを設定できます。インストゥルメントパラメーターページの2/2で調整可能で、パッチ内で割り当てられます。

シンセパラメーターとマクロの例

シンセモデル・エディター・パッチ選択はインストゥルメントパラメーターページの1ページ目で、パッチ固有のマクロは2ページ目で利用できます。



ACD WTFM
FAT PERC
VAP



Macro 1 Attack Macro 4 Filter Cutoff
Macro 2 Decay / Release Macro 5 Filter Resonance
Macro 3 Motion Macro 6 Filter Env Amount

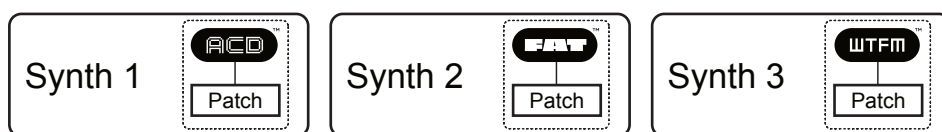
Tracker Mini Essentials

Synthesizer Patch Editor

NOTES

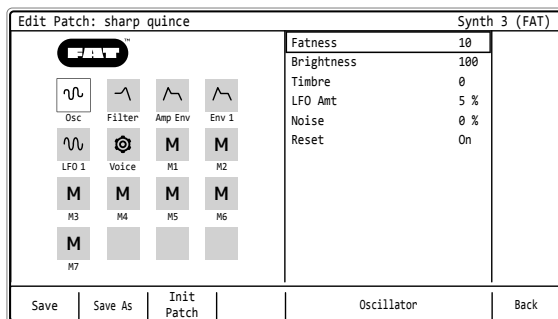
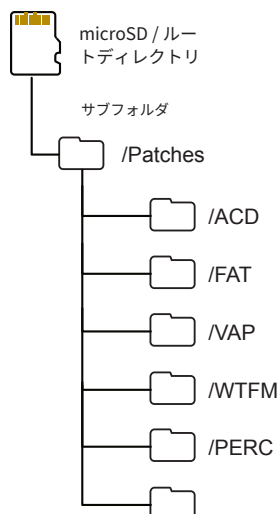
Tracker Miniには3つのシンセサイザーがあり、パッチを使って正確なサウンドを定義します。各パッチは、割り当てられたシンセモデルを反映します。パラメーターはマクロノブから直接操作できます。パッチはTracker Mini内蔵のパッチエディターで作成・編集できます。各パッチのマクロ割り当てとノブのパラメーター設定も設定できます。

3基のシンセそれぞれに、5種類のシンセモデルのいずれかを割り当て可能



パッチエディターは、シンセ選択時に[Instrument parameters]のPage 2にあります。

各シンセモデルのパッチは編集し、microSDカードに保存できます。保存したパッチは、各シンセスロットで読み込んで利用できます。



パッチはシンセ選択中に編集・保存可。エディターは[Instrument Parameters]。

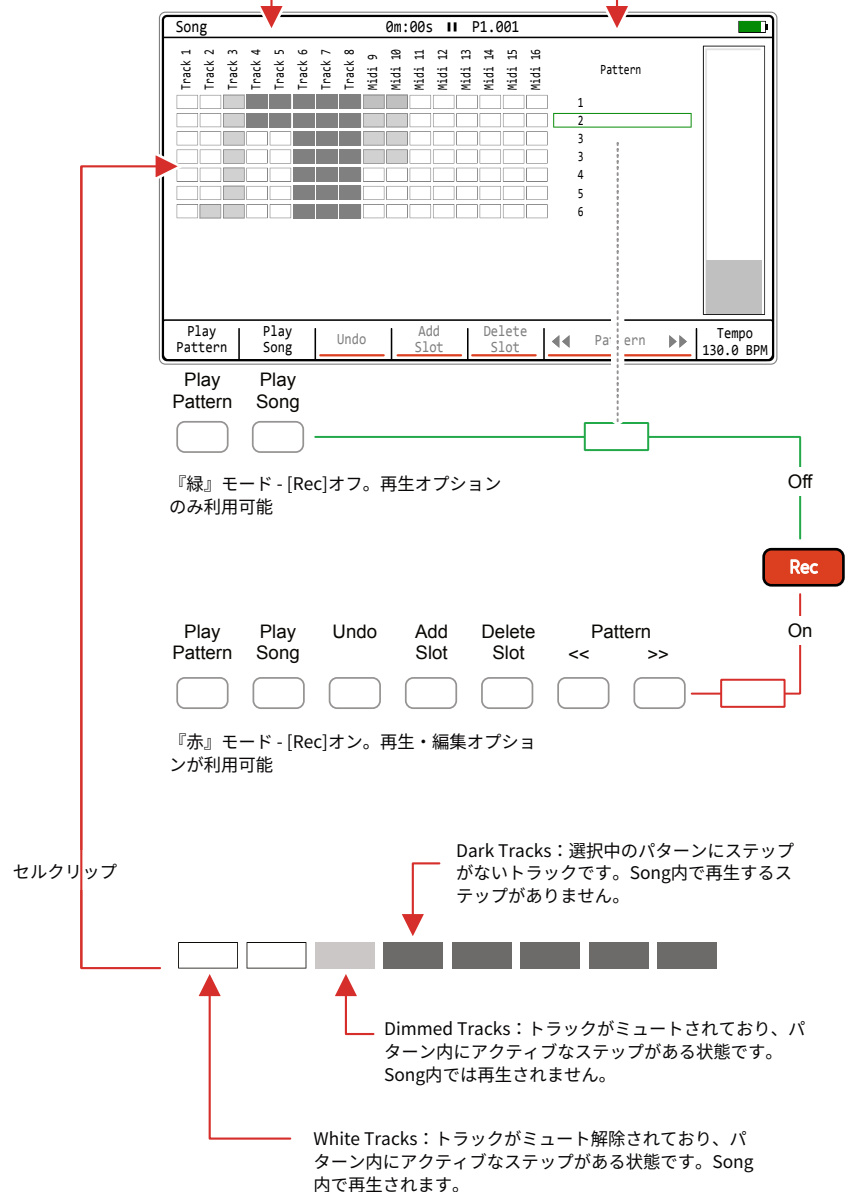
- モデルはインストゥルメントパラメーターページ1で直接変更します。
- [Load Patch]でmicroSDからパッチを読み込みます。
- [Edit Patch]でシンセエディターが開きます。
- 4x4パッドで編集するシンセ機能を選択。選択肢はモデルにより異なります。
- D-Padでパラメーターを移動し、[+]/[-]で値を編集します。

Song Mode Interface

[Shift] + [1]を押してSongページを選択するか、[Shift] + [1]を長押しすることで他のページ内から一時的にこのページを表示し、ボタンを離すと元に戻ります。Song Modeのインターフェースは、デフォルトではPattern 1のSlot 1のみが存在し、他は空の状態です。最大255個のSongスロットを使用できます。Song Modeで[Play]を押すと、単一のパターンではなくSong全体が再生されます。スロットのパターン内のトラックはセルクリップとして表示されます。

Tracks : 各列は
パターン内の各トラック。

Pattern : Songスロット
割り当てパターン番号。



Muting Tracks : Song Modeではミュート操作はできません。ミュート / ミュート解除には、Patternページまたはトラックミキサー(Masterページ2/3)を使用してください。

Tracker Mini Essentials

MIDI Configuration

NOTES

MIDIを扱う際の前提条件として、[Menu]からアクセスする『Config』オプション内の設定が、目的のMIDI機器構成に合わせて適用されていることを確認してください。これにより、Tracker Miniがクロックやトランスポートなどの機能を主導するか、あるいは別のプライマリ機器からのコントロール・同期に応じるセカンダリ(フォロー)として動作するかが決まります。またノートおよびCCの挙動も設定できます。

Menu	Option	Description
MIDI	Clock In	Tracker Miniのクロックを、内部生成(デフォルト)またはUSB/MIDI In経由の外部クロックに設定します。
MIDI	Clock Out	Tracker Miniのクロック出力を他機器へ送信。Off/USB/MIDI Out/USB+MIDIから選択。
MIDI	Transport In	トランスポートコマンドの入力元を設定。Internalまたは、USB/MIDI In経由の外部機器を設定可。
MIDI	Transport Out	Tracker Miniのトランスポートコマンドを他機器へ送信。Off/USB/MIDI Out/USB+MIDIに設定できます。
MIDI	Notes In	外部機器からのノート入力を受信方法を設定。Off/USB/MIDI In/USB+MIDIに設定できます。
MIDI	Notes Input Channel	外部ノートのchを全chまたはCh1-16に設定。
MIDI	MIDI Out	他機器と通信するMIDI出力ルーティングを設定。Off/USB/MIDI Out/USB+MIDIに設定できます。
MIDI	CC In	外部機器からのCC入力の扱いを定義。Off/USB/MIDI In/USB+MIDI Inに設定できます。
MIDI	CC In channel	CCメッセージ受信用のMIDIチャンネルを、全チャンネルまたはCh 1-16から設定します。
MIDI	Middle C	Tracker MiniのミドルCをC-3~C-6に設定。外部機器と一致しない場合の音域キャリブレーションに使用。
MIDI	Clock Sync Delay	受信クロック同期のレイテンシー補正です。同期エラーが発生しない限り、デフォルトのままにしてください。

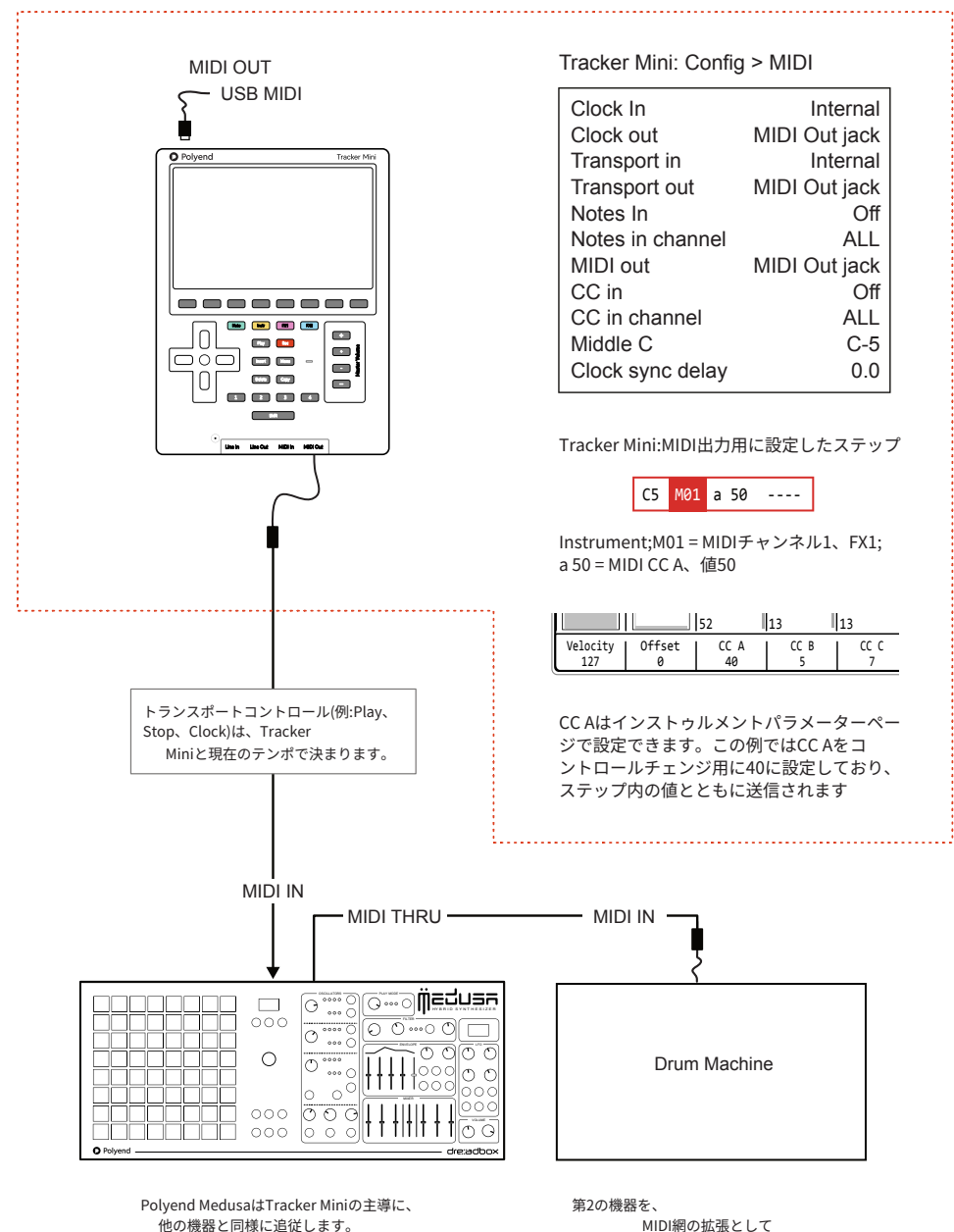
外部MIDIコントローラーのベロシティ録音には、録音オプション設定が必要です。

Menu	Option	Description
Project	Recording Options	このオプションはプロジェクトの録音オプションを設定します。外部コントローラーからベロシティを録音するには、対応オプションの選択が必要です。

Typical MIDI Configurations

MIDI機器の構成には多くのパターンがあります。複数機器が関わる複雑な構成も、2台が通信するだけのシンプルな構成もあります。典型的な例を紹介します。

構成例1: Tracker Miniをプライマリ(主導側)とする場合。



各機器は、クロックとトランスポート、そしてTracker Miniが通信するMIDIチャンネル(例: チャンネル1)を受信するよう設定する必要があります。この例では、Medusa側のCC 40がフィルターカットオフ周波数を表しており、Tracker Mini側の各ステップがそのフィルターカットオフを設定します。

Tracker Mini Essentials

Performance Mode Overview

NOTES

Performance Modeを使うと、トラック・パターン・Songに対してリアルタイムの即興的なコントロールが可能になり、ライブ演奏時にバリエーションと面白さを加えられます。通常は[Menu]の『Perform』ページで操作しますが、MIDI入力でパフォーマンスパラメーターを制御するよう設定することもできます。

Performance Mode : [Menu]を押してオプションにアクセス・移動します。『Perform』オプションを選択すると、パフォーマンスモード画面が表示されます。パラメーターの編集とエフェクトの設定は[Rec]録音モードで行います。パフォーマンスモードが有効な間も、パターンページとSongページを切り替えることができます。

Playback Status : ループ再生、
またはSong全体再生を表示。

Perform Status :
有効中

MIDI CC : 上段の行。MIDIの
CCで制御可能な値です。

Performance FX											
0m:00s P1.028>C											
Volume	Panning	Tune	Low-pass cutoff	High-pass cutoff	Band-pass cutoff	Delay send	Reverb send	Sample position	Sample end	Sample Playback	Volume LFO Speed
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	>>> /16	---
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	/16	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	/16	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	/16	-1

Punch In Effects :
設定可能な12個のパフォーマンスエフェクトスロット。

Track Selection : パフォーマンスエフェクトの対象トラックを選択。赤色で表示。

Punch In Params : 4エフェクト値。[+][+][-][-]で操作

Perform Slot Trigger

それぞれの[+]/[-]ボタンで、対応するエフェクト値の行がトリガーされます。エフェクト値はRow 1から設定可能で、デフォルトではオフ(---)に設定されています。

---	Row 1 Value	+
-5	Row 2 Value	+
+5	Row 3 Value	-
-7	Row 4 Value	-

選択中のエフェクトは、Tracker Mini画面上で緑色(または編集中の場合は赤色)で表示されます

Rec

REC Mode : [Rec]でパフォーマンス設定を編集。選択項目とエフェクト選択枠が赤色で表示され、エフェクトの設定・値編集が行えます。

---	---	---
Panning	Tune	Low-pass cutoff
---	---	---
-1	-5	-1
-1	+5	-1
-1	-7	-1

Perform Effects List

Tracker Miniには21種類のパフォーマンスエフェクトがあり、12個ある各エフェクトスロットに選択して読み込みます。同じエフェクトを複数のスロットに適用することもできます。『エフェクト』と呼ばれていますが、実際にはパラメーター値にバリエーションを加える形でパラメーターを制御します。

Effect #	Name	Range / Comments
1	Volume	-100～+100。ボリュームレベルの調整。
2	Panning	-100～+100。ステレオポジション。
3	Tune	-48～+48。セミトーン単位。MIDIにも適用されます。
4	Low-Pass Cutoff	-100～+100。フィルター周波数の調整。
5	High-Pass Cutoff	-100～+100。フィルター周波数の調整。
6	Band-Pass Cutoff	-100～+100。フィルター周波数の調整。
7	Reverb Send	-100～+100。FXセンドレベル。
8	Delay Send	-100～+100。FXセンドレベル。
9	Sample Position	-100～+100。オーディオサンプルの開始位置。
10	Sample End	-100～+100。オーディオサンプルの終了位置。
11	Sample Playback	<<< >>> 逆方向または順方向。
12	Volume LFO Speed	-28～+28。LFOスピード。
13	Panning LFO Speed	-28～+28。LFOスピード。
14	Finetune LFO Speed	-28～+28。LFOスピード。
15	Filter LFO Speed	-28～+28。LFOスピード。
16	Grain/WT LFO Speed	-28～+28。LFOスピード。
17	Step Repeater	Off, 16, 12, 8, 6, 4, 3, 2, 1, 1/2, 1/3, 1/4, 1/6, 1/8, 1/12, 1/16。
18	Pattern Play Mode	Fwd、Back、Rnd、C1-C20。固定または定義済みアルゴリズム『C』プレイモード。
19	Pattern Length	1-128。合計の長さ(選択・未選択を問わず全トラック)。
20	Bit Depth	-12～+12。ビットデプスの調整。
21	Overdrive	-100～+100。オーバードライブの調整。

Tracker Mini Essentials

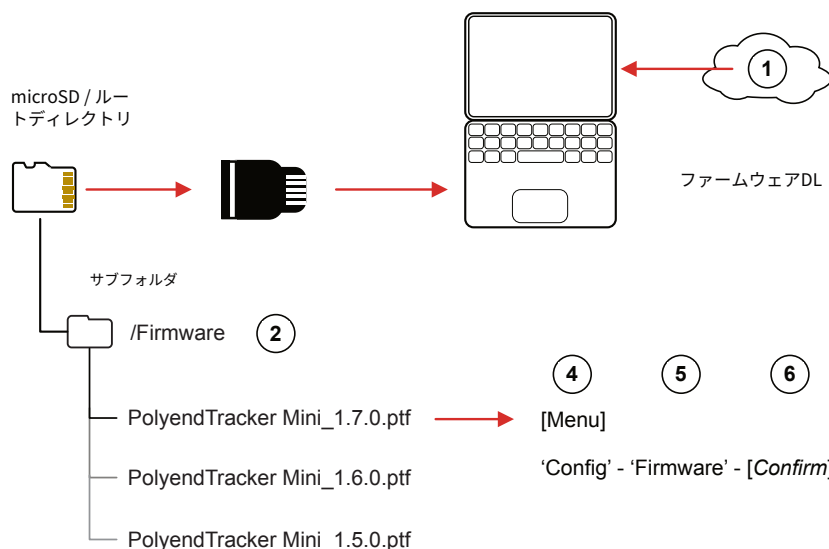
Generic Firmware Update

NOTES

ファームウェアアップデートは、バグ修正や新機能追加のため、Polyendより随時提供されることがあります。アップデートの手順はいくつかの方法で行えます。アップデートを実施する際は、各アップデートに付属するPolyendの説明書に従うことを強くおすすめします。本書の手順は一般的なガイドです。

■ ファームウェア更新

1. 最新ファームウェアをDL。アップデートはPolyend登録アカウントからアクセス可。
2. .ptfファイルを/Firmwareフォルダへコピー。microSDのルートにあります。
3. microSDカードをTracker Miniに挿入し、電源を入れます。
4. [Shift]+[4]長押し、または[Menu]から『Config』を選択。
5. 『Firmware』メニューへ移動。インストールするオプションを選択します。
6. [Confirm]を押す。
7. インストールされ、画面のプロンプトに従います。通常1分未満で完了。
8. 自動再起動。完了後に手動起動が必要な場合はOn/Offを押す。



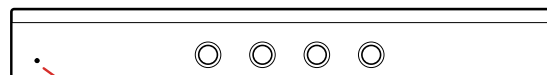
Emergency Firmware Update

ファームウェアアップデートは、登録済みの機器に対してPolyendポータルから入手できます。緊急時に備え、リセットボタンがリアパネル内部に設けられています。アップデート方法に問題がある場合や、Tracker Miniの不具合を解消するためにリセットを実行できますが、通常のアップデート手段としては使用しないでください。

■ TRACKER MINIとファームウェアのリセット

1. 電源がオフであることを確認。
2. 最新ファームウェアをDL。アップデートはPolyend登録アカウントからアクセス可。
3. ダウンロードした.ptfファイルを/Firmwareフォルダへコピー。microSDのルートディレクトリにあります。以前のファイルも残しておいてください。
4. microSDカードをTracker Miniに挿入します。
5. 電源を入れながら、ピンなどの細い物で内部のリセットボタンを押します。これは本体底面、入出力ジャックの左側にあります。
6. Tracker Miniがリセットされ、microSDカード内のfirmwareフォルダを検索します。Tracker Miniを正常な状態に復旧させるため、ランダムなファームウェアが選択・インストールされます。インストール処理には通常1分未満かかります。

底面、入出力ジャック。



内部のリセットボタン(凹型)。ピン等の細い物でリセットをトリガー。

このリセットオプションは、Tracker Miniでフリーズや動作停止が発生した場合に便利です。このような状況では、新しいOSをダウンロードする必要はありません。/firmwareフォルダには、公式かつ動作確認済みのファームウェアを複数保持しておくことをおすすめします。例:1.5.0、1.6.0、1.4.0。こうしておくことで、問題発生時に手順4〜5を実行でき、既知の状態からランダムなアップデートが行われます。その後、『config』メニューで最新バージョンを手動で選択してアップデートできます。

Tracker Mini Essentials

Quick Reference Commands

機能ボタン[1]～[4]のデフォルト割り当てを前提とします。D-Padは丸括弧(), ダイナミックスクリーンキーはイタリック体で表記。

Function	Action	Tracker Mini Buttons	Description
Master	Master Volume	Hold [Shift] + [+] or [-]	マスター出力を調整します。+/-では微調整と粗調整のオプションが利用できます。(Up)または(Down)でも調整できます。
General	General Navigation	(Up), (Down), (Right), (Left)	D-Pad:一般的なナビゲーション、メニュー選択・スクロールに使用。
General	Copy	[Copy]	文脈に応じて、機能間でコピー&ペーストを行います(例:パターンのコピー)。貼り付けには[Shift] + [Copy]を使用します。
General	Delete	[Delete]	文脈に応じて削除を行います。選択中のパラメーターをデフォルト状態にリセットします。Shiftと併用するとバックスペースとしても使用できます。
Pattern	Pattern Mode Page	[1]	Patternモードページを選択します。ボタン1は、ページ設定のデフォルトでPatternページに割り当てられています。
Pattern	Play Pattern	[Play]	パターンを先頭から再生します。すでに再生中の場合は停止または一時停止します。一時停止中の場合は途中から再生を再開します。
Pattern	Continue Play	[Shift] + [Play]	現在一時停止中の位置からパターンの再生を再開します。ステップの範囲が選択されている場合は、その範囲をループ再生します。
Pattern	8 Track Note View	[1] + [Note]	デフォルトの4トラックではなく、全8トラックをノートのみで表示します。[FX1]、[FX2]、[Instrument]を追加すると2要素を表示できます。
Pattern	8 Track Inst View	[1] + [Instrument]	4トラックではなく、8トラックをインストゥルメントのみで表示します。[FX1]、[FX2]、[Note]を追加すると2要素を表示できます。
Pattern	8 Track FX View	[1] + [FX1] or [FX2]	デフォルトの4トラックではなく、全8トラックをFXのみで表示します。[Note]、[Instrument]を追加すると2要素を表示できます。
Pattern	4 Track View	[1]	8トラック表示から、デフォルトの4トラック表示へ戻す。
Pattern	Note input mode	[Shift] + [Note]	ノートモードを設定し、スクリーンキーに個々のノートを割り当てます。[Note] + D-Padを長押しすると、割り当てるノートのセットを変更できます。
Pattern	Select Pattern	[1] + (Up), (Down) or [+] / [-]	番号でパターンを選択します。
Pattern	Sequential change	[1] + (Left) or (Right)	再生中に、現在のパターンが終わった時点で再生を開始する新しいパターンを選択します。パターンが赤く点滅します。
Pattern	Sequential change	[Pattern] + (Left) or (Right)	再生中に、現在のパターンが終わった時点で再生を開始する新しいパターンを選択します。パターンが赤く点滅します。
Pattern	Immediate change	[1] + (Up) (Down) or [+] / [-]	再生中に、新しいパターンを選択すると即座に同期して再生を開始します。
Pattern	Immediate change	[Pattern] + (Up) (Down) or [+] / [-]	再生中に、新しいパターンを選択すると即座に同期して再生を開始します。
Pattern	Multiple Step Select [Shift] + (Up) (Down) (Left) (Right)		複数ステップの範囲を選択し、まとめて編集できます。
Pattern	Select Top Row	[Shift] + [Insert]	停止中に、再生ヘッドを先頭行の開始位置にリセットします。
Pattern	Multiple Step Select	[Shift] + (Up) When on the first step	現在選択中のトラックの全ステップを選択します。
Pattern	Multiple Step Select	[Shift] + (Up) (Up) When on the first step	全トラックの全ステップを選択します。
Pattern	Mute Tracks	[Shift] + [Screen] Button	パターンモードページ表示中、スクリーンボタン1～8で、それぞれトラック1～8のミュート/ミュート解除を切り替えます。
Pattern	Parameter Selection	Tap Dedicated Param Button	編集またはナビゲート中に、Note・Instrument・FX1・FX2のいずれかのパラメーター選択をロックします。
Pattern	Arm / Disarm	[Shift] + [Rec] + [Screen] Button	トラックの録音をアーム/アーム解除します。アーム解除されたトラックは録音できません。スクリーンボタンが各トラックに対応します。

1.12 Quick Reference Commands

機能ボタン[1]～[4]のデフォルト割り当てを前提とします。D-Padは丸括弧(), ダイナミックスクリーンキーはイタリック体で表記。

Function	Action	Tracker Mini Buttons	Description
Pattern	Live Rec Start	[Shift] + [Rec]	ライブ録音を開始します。パターンヘノートを記録するには外部キーボードが必要です。
Pattern	Live Rec > Play	[Rec]	ライブ録音中に[Rec]を押すと、再生は続けたまま録音モードを終了します。
Song Mode	Song	Press [Shift] + [1]	[Song]を押すとSongページに切り替わります。
Song Mode	Song	Hold [Shift] + [1] long press	ボタンを長押しすると、他のページ内(例:パターンページ)から一時的にSongページを表示します。[Shift]より先に[1]を離してください。
Song Mode	Select Row	Press (Up) (Down) or [+] / [-]	Songの行スロット/パターンを移動します。1行を選択できます。
Song Mode	Select Top Row	[Shift] + [Insert]	停止中に、再生ヘッドを先頭行の開始位置にリセットします。
Song Mode	Play Song	[Play]	選択中のスロット/パターン行の先頭からSongを再生します。
Song Mode	Stop Song	[Play]	Songの再生を停止または一時停止します。再度再生を押すと、現在のスロット/パターン行の先頭からSong内で再開します。
Song Mode	Loop Row	[Shift] + [Play]	現在のSongスロット/パターン行を再生ループします。実質的に選択中のパターンを再生します。
Song Mode	Tempo	Hold [Tempo] + (Up) (Down)	テンポを1BPM刻みで、40～800BPMの範囲で調整。
Song Mode	Tempo	Hold [Tempo] + [+] / [-]	プロジェクトのテンポを、外側の+/-では10BPM刻み、内側の+/-では1BPM刻みで、40～800BPMの範囲で調整します。
Perform	Perform	[Menu]からPerformを選択	
Perform	Play	[Play]	現在のパターンをループ再生します。また再生を停止します。
Perform	Play	[Shift] + [Play]	Songをループ再生します。またパターン/Songの再生を切り替えます。
Perform	Edit	[Rec]	編集モード選択。ナビゲーションとスロット値が赤色表示。
Perform	Navigate Column	(Left) or (Right)	12個のエフェクトスロット列から選択。
Perform	Select	[Track x]	トリガーしたエフェクトの適用トラックを選択。トラックは赤色表示。
Perform	Trigger effect	[+], [+], [-], [-]	パフォーマンスのグリーンモードで、押している間エフェクト値スロットをトリガー。RECモードでは値編集が可能。
Perform	In Rec Mode	(Up), (Down)	現在のスロットのエフェクトを変更。
Perform	In Rec Mode	[Shift] + (Left) or (Right)	スロット間でエフェクトを入替。
Perform	In Rec Mode	[+] / [-] + (Up) or (Down)	対応するエフェクトと行のエフェクト値オフセットを編集します。
Perform	Remix	[Track x] + (Up) (Down) or [+] / [-] : 選択したトラックに新しいパターンを読み込み、即再生。ライブリミックスモード。	
Perform	Remix	[Track x] + (Left) or (Right)	現在のパターンが完了した時点で、選択したトラックに新しいパターンをアームします。ライブリミックスモード。
Perform	Mute / Unmute	[Shift] + [Track x]	選択中トラックをミュート/解除します。

Tracker Miniの完全版マニュアルはPolyendアカウントからダウンロード可能です

Copyright © 2025 by Polyend

無断複写・転載を禁じます。本書のいかなる部分も、
書評における短い引用を除き、出版者の書面による明示的な
許可なく複製または使用することはできません。

2025年10月 - Tracker Mini OS 2.2.0 a

マニュアルは英国にて

制作:

Synthdawg

www.synthdawg.com



